

第2期観音寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

(令和3年度実績)

1 調査方法

基本目標の「数値目標」、及び各具体的な施策の「重要業績評価指標（KPI）」の前年度実績を確認するとともに、KPIの進捗状況について、次の凡例により段階的に評価した。

【凡例】各年度の進捗状況

「重要業績評価指標（KPI）」について、目標値に対する進捗度評価を行った。実績値/目標値による達成度に応じて、主にA～Eの5段階で評価している。

「A」：(100%以上) 目標以上に進捗しており、継続して事業を実施する。

「B」：(80%以上～100%未満) 目標に向け進捗しており、継続して事業を実施する。

「C」：(50%以上～80%未満) 目標に向け概ね進捗しており、継続して事業を実施する。

「D」：(25%以上～50%未満) 目標を下回っており、要因の分析をして事業を実施する。

「E」：(25%未満) 目標を大きく下回っており、内容によっては目標値または事業見直しを要する。

「-」：当該年度調査なし、統計調査未実施等により達成率の算出ができないもの。

2 調査結果

「基本目標」における「数値目標」の進捗状況

「重要業績評価指標（KPI）」の進捗状況および評価

【基本目標】 1 活力と魅力あるしごとづくり				
数値目標		基準値 (平成 27 年)	目標値 (令和 6 年)	
従業者数 (非正規、外国人も含む)		29,406 人	29,500 人	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
27,327 人 (※)	—	—	—	—

※ 国勢調査の結果による

(1) 産業の成長を支える人材の育成・確保 (意欲的な担い手や後継者の育成・確保)					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価	
合同企業説明会における 就業者数 (採用)		4 人	10 人	—	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
1 人	—				
<p>【関連施策の実施状況】 令和 3 年 3 月 17、18 日開催の「観音寺市 Web 合同企業説明会」では、参加視聴者 54 名、延べ視聴回数は 278 回、また、観音寺市公式 Youtube チャンネルでのアーカイブ配信では延べ 1,521 回の視聴があった。一方で、令和 4 年 3 月卒業の就業者数 (採用人数) を令和 4 年 5 月に確認したところ 1 名であった。令和 3 年 5 月 15 日に予定していた「観音寺市・三豊市合同就職説明会」は新型コロナウイルス感染拡大状況から中止とした。その他のイベントとしては、今後就職活動を迎える県内外の学生や UJI ターン等で就職を考えている方を対象に、2 月 21 日、24 日、28 日にハローワーク観音寺・観音寺市・三豊市の主催で、就職活動に関する説明などを行う、就活支援 WEB セミナー (労働市場や就職活動方法の説明、西讃地域概要や UJI ターン経験者の声などの紹介) を開催し、延べ 29 名の参加があった。</p>					
<p>【今後の取組について】 オンライン形式の企業説明会は、会場までの移動がないこともあり対面形式に比べて県外 (特に関西圏) からの視聴が多く、広範囲で地元企業を PR できる方法であると認識したが、一方的な企業説明の場となり、求職者との会話がなかったため採用人数が伸び悩んだ。 令和 2 年度に実施したオンライン形式による企業説明会は、当初予定していた対面による合同就職説明会の代替で行ったものであるが、採用に結びついていないところから、対面形式に戻して合同就職説明会を実施する。</p>					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価	
認定新規就農者数 (累計)		28 人	35 人	A	

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
39人	45人			

【関連施策の実施状況】

認定新規就農者の農業用機械・施設等（トラクター・パイプハウス等）の整備に対する助成を要望のあった15人に行い、初期負担の軽減や経営発展・定着を図った。

また、就農希望者を受け入れる里親育成事業により、先進農家（研修生2人）の支援も行った。その他では、世代を担う意欲ある認定新規就農者が自らの経営を確立する期間の資金（経営開始型）として、要件を満たす延べ26人に対し、補助金を交付した。

（今後の取組みについて）

令和3年度中の新規認定は6人。一方、認定期間を満了等した新規就農者5人のうち、3人が認定農業者となり、地域農業の中心的な経営者として規模拡大等に取り組んでいる。

しかしながら、本格的な高齢化社会の到来で、今後ますます担い手の不足・耕作放棄地の増加が予測され、認定新規就農者の発掘・育成は喫緊の課題となっている。担い手の確保・育成のため、移住希望者の就農相談も行っているが、魅力的で儲かる農業の仕組みづくりのため、引き続き各種政策を推進するとともに農業分野を超えた連携が重要である。

重要業績評価指標（KPI）	基準値 （平成30年度）	目標値 （令和6年度）	KPIの進捗評価	
森林整備面積（累計）	0 ha	1.5 ha	E	
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0 ha	0 ha			

【関連施策の実施状況】

令和2年度から森林組合と連携し、大野原町有木地区の1林班を対象地に選定。林班内の大規模な私有林・人工林所有者宅を訪問するとともに、人工林所有者に対して郵送による意向調査を実施し、現在、森林経営計画を策定中。計画期間内での目標値達成は時間の問題となっている。また、令和4年度は森林組合により、里山環境整備事業（約0.9ha、高屋地区）も行われる予定。

【今後の取組について】

森林経営管理法が施行され、近隣市町も含め、森林整備が推進されることで、林業就業者の絶対数は増加に転じる可能性を秘めているが、一朝一夕には困難である。確実に事業実績を積み上げていく中から将来像を展望したい。

（2）起業創業支援や企業誘致の推進

重要業績評価指標（KPI）	基準値 （平成30年度）	目標値 （令和6年度）	KPIの進捗評価
中小企業経営改善資金利子補給実施件数と金額（累計）	132件 2,657,130円	150件 3,000,000円	C

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
121件 2,159,763円	90件 1,239,561円			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
企業等誘致数 (累計)		0件	5件	D
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0件	2件			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
サテライトオフィス誘致事業所数 (累計)		0件	1件	E
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0件	0件			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
創業者セミナーの参加者数		10人	15人	C
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
9人	11人			
【関連施策の実施状況】				
<p>令和3年度に新たに当該利子補給対象融資を受けたものは3名であり、全体件数は昨年度に比べ大幅に減少した。</p> <p>また、企業誘致に関しては、観音寺港三本松地区（風瀬町）へ金属製品製造業者1件、大野原町へ食料品製造業者1件、計2件の市外事業者による立地があった。</p> <p>サテライトオフィス等についても、香川県企業誘致推進協議会の一員として、関西最大の展示会であるJapan IT Week 関西に参加を予定するなど誘致活動や情報収集にあたっているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大状況から参加を見合わせた。</p>				
【今後の取組について】				
<p>当該利子補給対象融資は、コロナ禍以前であれば受ける者が年度あたり30名前後いたが、近年は3年間無利子等の新型コロナウイルス関連融資を利用する事業者や同融資への借換えを行う事業者が多くいたことなどが件数減少の要因となっており、各関係機関、金融機関と協力体制を維持し、引き続き事業を実施する。</p> <p>企業誘致に関しては、誘致する企業の選定や企業進出のメリット抽出を進め、観音寺港三本松地区（風瀬町）などに引き続き香川県と連携しながら誘致活動を行う。</p> <p>また、企業が立地を検討するうえで重視する項目の一つとして、地域における人材・労働力</p>				

の確保があげられるため、ハローワーク観音寺等との連携強化に努め、引き続き就職説明会等による支援を実施する。

(3) 地域産業の競争力強化

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
製造品出荷額等		42,348 百万円	43,000 百万円	B
令和 2 年度公表 (平成 30 年分)	令和 3 年度公表 (令和 元年分)	令和 4 年度公表 (令和 2 年分)	令和 5 年度公表 (令和 3 年分)	令和 6 年度公表 (令和 4 年分)
41,508 百万円	42,214 百万円			

【関連施策の実施状況】

地方創生推進交付金を活用し、本市の主要産業である食料品製造業の活性化のための事業を実施した。令和 3 年度は、市内食品事業者を対象にバイヤー出身の商品づくりアドバイザーを講師に招いた個別相談形式の「観音寺市の「売れる！新商品」づくり講座」を開催し、伊吹いりこを活用しただし商品に関する企画やパッケージデザインのアドバイス、加工業者紹介などの支援により、市内事業者の新商品が 2 点完成した。その他、食品バイヤー（4 社）を招聘した個別面談形式の商談会開催し 17 事業者が参加するなど事業者への支援を行なった。

観音寺ブランド認証推進の取組みに関しては、広告広報活動、補助制度を通じた認証事業者への活動支援を継続し、3 品を新たに認証品に追加した。

また、企業版ふるさと納税による寄附を活用して、地元信用金庫やまちおこし団体と連携した、地域製品のプロモーション活動を行っており、物産展開催のほか市内事業者や観音寺物産の PR 冊子の作成、天空の鳥居へのお土産用自販機の設置に関連した支援を行っている。

【今後の取組について】

商品づくり講座など伴走型の支援については、相談間隔が空くと進捗に影響がでるため、内容によっては、細かなスケジュール調整やまとまった相談回数の確保が課題である。商談会についても、取引先の業態や販路に関する希望を詳細に聞き取り、市内事業者とバイヤーのマッチングに努めることが重要である。

観音寺ブランドは認知向上が当面の課題となっており、ふるさと納税返礼品へのブランド認証品登録やシティプロモーションにおける PR など他事業との連携や、各施設へのポスター掲示など、引き続き認知度向上に努めていきたい。

【基本目標】 2 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり				
数値目標		基準値（平成 28 年 9 月実施市民アンケート）	目標値（令和 3 年度実施予定アンケート）	
観音寺市に対する愛着度（一般）		愛着を感じている 46.5% 愛着をやや感じている 30.5% 計 77%	計 85%	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
—	67.9%	—	—	—
数値目標		基準値（平成 31 年 3 月実施子育てアンケート）	目標値（令和 6 年度実施予定アンケート）	
子育てしやすいまちだと思ふ人の割合		42.7%	60.0%	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
—	—	—	—	実施予定

(1) 子どもの成長を支える				
重要業績評価指標（KPI）		基準値（平成 28 年度）	目標値（令和 3 年度）	KPI の進捗評価
観音寺市に対する愛着度（高校生）		とても好きだ 20.3% どちらかというが好きだ 48.2% 計 68.5%	とても好きだ どちらかというが好きだ 計 75.0%	C
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
—	59.4%	—	—	—
重要業績評価指標（KPI）		基準値（令和 2 年度）	目標値（令和 6 年度）	KPI の進捗評価
地域や学校の活動に学校運営協議会の委員が参加（協働）した回数が、年 2 回以上の市内小中学校の割合		13% (2/15 校)	100% (15/15 校)	B
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
13% (2/15 校)	80% (12/15 校)			

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成元年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
市内小学校の地域学校協働本部設置率		0% (0/10校)	100% (10/10校)	E
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
20% (2/10校)	20% (2/10校)			
<p>【関連施策の実施状況】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、活動内容の変更やスケジュールの延期があったものの、市内の小中学校で、地域の工場や事業所等の見学、稲作やふるさと学芸館での昔の道具の体験等により地域の自然や人びとの営みに触れることで、教科等の枠にとられない総合的な学習活動を実施した。活動を通して、郷土の歴史や生活、豊かな自然に触れることができ、集団行動でのルールや責任等についても学ぶ機会となった。</p> <p>また、小学生の早い時期からふるさとへの関心と愛着心が深まるよう、農作業体験やふるさと学習、キャンプなどを通じて、自然や文化、歴史など様々な活動を取り入れ、指導者や体験場所について地域の方々の参画・協力を得ながら事業を実施している。(新型コロナウイルス感染症拡大により、わくわく体験教室は一部中止、親子木工教室は参加人数を縮小して実施、親子ポスター教室は中止となるなどの影響があった。)</p>				
<p>【今後の取組について】</p> <p>多種多様なプログラムを計画する中で、各学校においては、創意を凝らした教育活動を展開している。一方で、地域における学習活動では指導者探しなどの課題もあり、また、活動募集は学校を通して行っているものもあるため、今後も地域や学校の協力が得られるような体制を維持していく必要がある。伊吹島での活動に関しては、いりこ漁と瀬戸内国際芸術祭の実施期間の乗船客が多いため、学級別に実施するなど工夫しており、今後も関係機関との調整を進めていきたい。</p>				

(2) 子育て支援・共同子育て推進					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成20～平成24)	目標値 (平成30～令和4)	KPIの進捗評価	
合計特殊出生率		1.53	1.67	A	
令和2年度 (平成25～平成29)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1.69	—	—	—		

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 29 年)	目標値 (令和 6 年)	KPI の進捗評価
出生者数		436 人	406 人	B
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
334 人	372 人			

【関連施策の実施状況】

子育て支援に関しては、生後 4 か月までの乳児のいる家庭を訪問し、子育て等の情報提供やお悩み相談の支援を行った。(対象者 398 件、訪問件数 392 件。) また、子育てホームヘルプサービスとして、おおむね小学 3 年生までの児童の保護者が、一時的に育児や家事の援助が必要となった時、子育てホームヘルパーを派遣し、児童の育児や家事を行なった。(利用件数 138 件)

平成 29 年 6 月に開設した「子育て支援センターほっとはうす萩」では、利用者が増加傾向にあったが、令和 3 年度は 2 年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で、感染状況に応じ臨時休館をおこなった(令和 3 年度利用実績 11,762 人、令和 2 年度 11,523 人)。

放課後児童クラブでは、昼間、保護者が共働き等により家庭にいない小学生を預かり、その遊びと生活を支援しているが、公設は、伊吹小学校区を除く 8 校区 10 教室で行っている。平成 27 年度の児童福祉法改正により対象児童が小学 6 年生まで拡大したことや母親の就労率の高まり等により、放課後児童クラブの利用希望は年々高まっており、平成 28 年度より、基準を満たした民間事業者に補助金を支出し受け入れ枠の拡充を図っている。令和 3 年度では、大野原小学校内を改修し大野原こどもセンター教室を開設したほか、豊浜小学校の建替え工事に伴う改修により、豊浜にじ教室を開設した。

【今後の取組について】

乳児家庭等への相談支援については、他の事業や関係課が協力連携して支援を行い、相談支援体制の充実に努める。子育てホームヘルパーの派遣は、委託先のヘルパー従事者の高齢化や人手不足が課題となるケースもあり、地域におけるボランティア組織や NPO 法人等の利用のほか、委託先確保も重要課題となっている。

ほっとハウス萩は、利用者が一定程度ある中で新型コロナウイルス感染症対策をおこないながらの運営となっているが、利用者のニーズは高く、利用者の安全を第一に考えるなかで、さまざまなイベントなどを計画していく。民間事業者が運営する支援センターについては、利用促進のために引き続き広く周知を行い子育てに関する電話相談や情報発信を実施する等、施設を利用できなくても有効となる子育て支援を展開していく。

放課後児童クラブは、利用希望者が増えており、支援や配慮が必要な児童が増加傾向であるので、支援員向けの研修を実施するとともに、待機児童解消のため一人でも多くの児童の受け入れができるよう支援員の配置や受け入れ体制の拡充を図る。

(3) 誰もが活躍できるまち				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (平成 30~令和 4)	KPI の進捗評価
外国人の人口		653 人	1,800 人	C
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1,063 人	924 人			
<p>【関連施策の実施状況】</p> <p>地方創生推進交付金を活用し本市の主要産業である食料品製造業の活性化のための事業を実施した。令和 3 年度では、市内事業者の売上増加に資する取り組みのほか、人手不足対策に関する取り組みとして、近年受け入れが進んでいる外国人労働者をテーマに、2019 年 4 月からスタートした新しい在留資格「特定技能」に関する企業の担当者向けセミナーを実施した。公益財団法人 国際人材協力機構 (JITCO) の高松駐在事務所から講師を招き、特定技能制度の概要や技能実習制度との比較、労務管理・安全衛生管理の留意点などの講義を実施した。</p>				
<p>【今後の取組について】</p> <p>特定技能制度は、中小規模事業者をはじめとした人手不足に対応するため、人手不足が深刻な産業分野において、一定の専門性・技能を有し即戦力となる外国人の受入を図るもので、食料品製造業においても今後受入の拡大が見込まれている。しかしながら、昨年度は、新型コロナウイルスの影響による入国制限で、外国人労働者が入国待ちとなるなど、受入に影響がでている。入国制限の緩和に伴い今後は外国人労働者の受入が進んでいくことが予想されるが、外国人材の雇用に関する県内相談窓口については、前述した国際人材協力機構 (JITCO) の他に、「かがわ外国人相談支援センター」・「香川県外国人労働人材関係相談窓口」(ともに香川県) など、雇用・就労から生活相談まで幅広い支援機関があり、今後同様の取組みを実施する際は関係機関と効果的に連携した取り組みが重要となる</p>				

(4) 女性が働きやすい職場環境の整備				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (令和元年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
かがわ女性キラサボ宣言に登録している市内事業所数 (累計)		21 事業所	30 事業所	B

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
25事業所	28事業所			
<p>【関連施策の実施状況】</p> <p>市広報に、女性活躍推進に関する記事（一般事業主行動計画の策定、えるぼし認定）を掲載した。その他、男女共同参画週間など啓発期間において、関連パンフレットやチラシを配布し、啓発に努めた。</p>				
<p>【今後の取組について】</p> <p>引き続き、女性活躍推進法に関する啓発を定期的実施する等、関係機関と連携して働きかけを行う必要がある。</p>				

(5) 結婚を希望する男女を応援する環境づくりの推進				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
婚姻届受理件数		250件	250件	C
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
219件	189件			
<p>【関連施策の実施状況】</p> <p>結婚を希望する独身者に向けた新たな出会いを後押しするため、縁結び支援センター登録補助金として縁結びマッチング会員の入会登録料1万円の2分の1を市が負担。利用者は19名。婚活イベントに関する補助については、コロナ禍で確実なイベントの開催が見込めないなど影響があった。</p>				
<p>【今後の取組について】</p> <p>縁結び支援センター応援団体の登録数およびマッチング会員登録数が伸び悩んでいるため、市内事業所に縁結び支援センター応援団体登録を促し、市内企業も一丸となって結婚への機運を高める。また、縁結びマッチング会員入会登録への補助制度の周知に努め、さらなる利用者の増加につなげる。</p>				

【基本目標】 3 新たな交流を生むまちづくり				
数値目標		基準値 (平成 30 年)	目標値 (令和 6 年)	
観光入込客数		141 万人	150 万人	
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
101 万人	93 万人			

(1) 観光・交流人口の拡大					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年)	目標値 (令和 6 年)	KPI の進捗評価	
道の駅 (2 か所) の総売上額		119,840 千円	120,000 千円	C	
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	
97,823 千円	84,176 千円				
<p>【関連施策の実施状況】</p> <p>観光PRに関しては、観光協会の事業計画に基づき本市の観光情報発信等を継続実施した。</p> <p>また、令和4年度に開催される瀬戸内国際芸術祭2022に向けて、伊吹島における「うららの台所」(※伊吹島のお母さん達が主体となり食の魅力発信をおこなう)に係る勉強会や高校連携に伴う観音寺総合高校及び笠田高校との学習会等を開催した。また、年度末に「よるしるべ」(※映像作品や陶芸作品の灯りを道しるべに夜の観音寺を散策する)や関連するワークショップの実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本事業については中止となった。</p>					
<p>【今後の取組について】</p> <p>今後も効果的な観光宣伝が行えるよう、SNS等を活用した情報発信手法等を含めて、より効果的な情報発信手法を研究する。また、観光基本計画に沿った事業展開や観光協会の基礎体力向上、協会独自の視点による情報発信を進めるなど、観光協会を中心とした観光施策や情報発信が効果的に実施できるようサポートする。</p> <p>瀬戸内国際芸術祭2022の開催に向けては、関係団体等との情報共有や事前準備の充実を図っていくが、担当職員の減員が進むと、本事業の効果的な推進が困難となる可能性があり、連携強化のための顔の見える関係を構築し、専任スタッフの拡充を図ることが必要である。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の拡大蔓延状況下等においても本事業が着実に進められるよう、イベント開催時期や他の事業展開を検討する必要がある。</p>					

(2) 関係人口の創出				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
がんばれ観音寺応援隊の隊員数 (累計)		136 人	260 人	B
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
208 人	219 人			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
ふるさと納税の寄附金額		187, 192, 067 円	1, 000, 000, 000 円	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
839, 738, 032 円	1, 271, 306, 700 円			
【関連施策の実施状況】				
<p>シティプロモーション事業は、ふるさと活力創生課・商工観光課・農林水産課・民間事業者連携のもと、東京や大阪の屋外施設で特産品販売、移住相談、観光PRを集中的に実施する、「まるごとかんおんじフェア」を実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント開催を見合わせた。</p> <p>ふるさと納税推進事業は、返礼品の増加やリピーターの獲得等により、寄附額の大幅な増加につながっている。また、事務手続きについては、寄附金受領証明書発送やワンストップ特例申請書の受付業務の外部委託により、効率化を図っている。</p>				
【今後の取組について】				
<p>本市のイメージや認知度向上の取組みの1つとして、観音寺市を全国に向けてPRするボランティアサポーター「がんばれ観音寺応援隊」による活動を行っている。活動内容としては、各自で自由に観音寺市の歴史・文化・自然・食など、魅力ある地域情報等の発信をお願いするものであるが、隊員の自由なPR活動に加え、活動の参考となるよう市からも活動を提案していく必要がある。また年間のシティプロモーションの取り組みを紹介するなど、活動に対してより興味関心を持ってもらう。ふるさと納税推進事業については、寄附受付ポータルサイトの比較検討など情報収集を継続し効果的な運用に努める。</p>				

(3) 学校との連携					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価	
市内幼小中学校、高等学校及び大学等との連携事業数 (累計)		15 事業	18 事業	C	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
14 事業	14 事業				
<p>【関連施策の実施状況】</p> <p>市内小中学校と連携した事業として、生徒に自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する資質や能力などを育成することを狙いとして、教科書の枠を超えた横断的・総合的な学習を実施している。地域の工場や事業所等の見学、長寿会の方々との交流、稲作やふるさと学芸館での昔の道具の体験など、地域の自然や人びとの営みに触れて学ぶ総合的な学習活動を実施した。</p> <p>大学との連携に関しては、香川大学の「瀬戸内地域活性化プロジェクト観音寺班」の活動を支援し、市の魅力発信動画作成やふるさと学芸館のパンフレット制作、イベント運営補助など学生の目線による活動に取り組んだ。</p>					
<p>【今後の取組について】</p> <p>市内小中学校と連携した総合的な学習活動の実施にあたっては、各校とも、地域や学校、児童の実態等に応じて特色ある活動を行っており、今後も継続して実施していく。</p> <p>香川大学との連携事業では、近年多くの学生が活動にご参加いただいている。令和 3 年度では、本市の観光スポットや飲食情報など、SNS を活用した積極的な情報発信を行うことができたので、今後も学生が中心となり、地域の魅力や課題発見につなげていきたい。</p>					

(4) 移住希望者に向けての情報発信及びフォロー					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年)	目標値 (令和 6 年)	KPI の進捗評価	
転入者数		1,666 人	1,750 人	B	
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	
1,516 人	1,406 人				

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年)	目標値 (令和 6 年)	KPI の進捗評価
転出者数		1,860 人	1,750 人	A
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
1,682 人	1,693 人			
<p>【関連施策の実施状況】</p> <p>移住者に対する家賃補助の申請者が増加し、前年度対比 1.2 倍となった。予定されていた大阪・東京での移住フェアは、新型コロナウイルス感染症の影響をうけ中止となったが、オンライン移住相談会を実施した。</p> <p>空き家バンク制度では、空き家の売買・賃貸希望者をマッチングし、空き家の活用・流動化を図ることができ、市民の定住にもつながっている。昨年度は成約 17 件中、県外の人による成約が 6 件となった。さらに、空き家バンクの利用を促進するために、空き家リフォーム事業も実施するなど、物件登録や成約への後押しとなった。</p>				
<p>【今後の取組について】</p> <p>移住フェア以外でも本市を知ってもらうきっかけが必要であるので、市ホームページ、SNSなどで移住者向けの情報発信を行うとともに、移住サイト「観音寺市で暮らしませんか」に最新の移住者インタビューなどを掲載する。移住者向け雑誌での空き家情報無料掲載を活用するなど、県外在住者へ向けた情報提供に努める。</p> <p>空き家バンクは、物件の成約促進のために設けている「空き家バンク事業者登録」の制度周知および登録数増加が課題であり、市内不動産業者の登録を促進するとともに空き家バンク制度を広く知ってもらうため、「空き家バンク事業者登録」の再周知を行う。</p> <p>また、引き続き市広報やホームページ、固定資産税納税通知書と同封のチラシなどで、空き家バンク・リフォーム補助制度のPRを行い、新規物件登録数や成約件数の増加を図る。</p>				

【基本目標】 4 持続可能なまちづくり				
数値目標		基準値（平成 28 年 9 月実施市民アンケート）	目標値（令和 3 年度実施予定アンケート）	
観音寺市に対する定住意向（アンケート）		住み続けたい 54%、どちらかといえば住み続けたい 23.8% 計 77.8%	計 85%	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
—	74.6%	—	—	—
数値目標		基準値（平成 30 年）	目標値（令和 6 年）	
住宅の新築戸数		249 戸	250 戸	
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
216 戸	208 戸			

(1) 周辺市町との連携				
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値（令和 6 年度）	KPI の進捗評価
新規広域連携事業数（累計）		—	3 事業	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1 事業	3 事業			
【関連施策の実施状況】 観音寺市・四国中央市・三好市の県境を接する三市が、広域的に交流し連携をとることにより、県境における四国中央地域の活性化を促進することを目的として、四国まんなか交流協議会を設置しているが、令和 3 年度は、3 市の魅力発信を目的に情報発信事業（インスタグラムフォトコンテスト）、3 市の連携を広げるための職員交流研修会（SDG s カードゲーム研修）を実施した。さらに、新たな取り組みとして、関係人口創出事業（3 市を巡るオンラインバスツアー）を実施した。				

【今後の取組について】

単年度で終わる事業ではなく、継続性やその他への事業展開を考慮して事業を実施していく必要がある。現在は観光・PR等に特化した事業が多くなっており、今後多面的な事業を検討していく。今後は、昨年度に続き、オンラインバスツアーを実施する予定なので、前回の反省を活かしながら、参加者の期待やニーズに合った内容を検討していく。情報発信事業については、市民や事業者と連携しながら、積極的かつ効果的な情報発信に努める。

(2) 地域コミュニティの活性化

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
地域サロン活動を実施している自治会の割合(実施自治会/全自治会)		3%(8自治会/263自治会)	70%	E
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3% (8/263)	3% (9/263)			

【関連施策の実施状況】

自治会活動支援事業は、観音寺市自治会連合会や各自治会で当初予定していた行事等について、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかったものが見受けられた。地域サロン活動支援事業についても例年より少ない申請件数であり、当初は13自治会からの申請であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により4自治会が活動中止となった。

市民団体活動促進事業については、申請のあった1団体に補助金を交付しており、新しい公共の担い手として街づくりの推進と地域の活性化につなげている。

地域おこし協力隊事業は、昨年度は市内の2団体に地域おこし協力隊を導入しており、まちなかや山間地域の活性化を図るための取り組みを実施した。新型コロナウイルス感染拡大による、地域行事の中止や人との交流制限等により、活動が自由にできなかったが、着任より2年目を迎え、受入団体との関係性も出来てきて、次年度に向けて前向きな活動計画を検討している。

【今後の取組について】

地域サロン活動支援事業は、事業委託先である社会福祉協議会と連携し、より多くの地域で地域サロンが実施できるよう周知を図り、地域住民の自由な参加やコミュニティ活性化につながる事業を実施する。

市民団体活動促進事業については、新しい公共の担い手として、自治会とは異なる単位での活動を促進しているが、新規団体の発足が少ないため、市内を拠点に活動している市民活動団体の活動を幅広く市民に周知し、活動内容に対する理解が深まるよう取り組むとともに、利用若しくは誰でも参加できる体制や利用しやすい環境づくりを進める。

地域おこし協力隊事業は、隊員と受入団体との間で、より一層の交流および意思疎通を図ることが重要で、コロナ禍で隊員の活動が制限されていたが、ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、地域おこし協力隊の活動自体をより広く市民に周知し、活動に繋げていく必要がある。今後は、隊員と受入団体、隊員同士、隊員と市民、などの交流を積極的に実施していくとともに、新規隊員が着任の際は、先輩隊員と後輩隊員との関係づくりや交流も大切にしながら、地域に密着した活動ができるよう、柔軟な活動支援を行っていく。

(3) 住民の住みやすさ向上				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
のりあいバス利用者数		215 人/日	255 人/日	C
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
154 人/日	151 人/日			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
空き家バンクの利用 (成約) 件数		13 件	30 件	C
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
19 件	17 件			
<p>【関連施策の実施状況】</p> <p>のりあいバスは、市民のニーズに対応した利便性の高い公共交通網の構築を目標に路線の全面的な見直しを実施し、その後継続して利用促進に努めており、利用者数が伸びてきていたが、コロナ前より 3 割～4 割ほど利用者数が減少した。</p> <p>空き家対策については、老朽化して倒壊のおそれのある空き家等の除却促進を図るとともに、その他の空き家等の適切な管理、活用の促進について総合的に取り組んだ。</p> <p>空き家バンク制度では、空き家と売買・賃貸希望者をマッチングするなど空き家の活用・流動化を進めており、昨年度は 17 件の成約があった。また、物件登録・成約への後押しのため、空き家リフォーム事業も実施するなど、空き家の利活用を図った。</p>				
<p>【今後の取組について】</p> <p>のりあいバスは、他の公共交通機関から離れた不便地域の住民や高齢者等の外出機会の促進を図り、利用者数増加のため活用方法を広く周知するとともに、利便性向上に努める。</p> <p>空き家対策については、所有者等の把握が困難な案件や複雑な人間関係が問題の根幹となっている場合も多く、引き続き、調査・注意喚起・情報整備等の空き家等対策を総合的に推進していく。</p> <p>空き家バンクは、物件の成約促進のために設けている「空き家バンク事業者登録」の制度をより広く知ってもらうため、市内不動産業者に「空き家バンク事業者登録」の再周知を行い、事業者登録を促進するなど、空き家の解消に努める。また、市広報、市ホームページ、固定資産税納税通知書と同封のチラシなどで、空き家バンク・リフォーム補助制度の PR を行い、新規物件登録数や成約件数の増加につなげる。</p>				

(4) 情報提供と広聴広報活動の強化				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H31. 4. 1)	目標値 (R7. 3. 31)	KPI の進捗評価
フェイスブックのフォロワー数		2,831 人	3,330 人	B
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
3,090 人	3,176 人			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H31. 4. 1)	目標値 (R7. 3. 31)	KPI の進捗評価
ツイッターのフォロワー数		3,280 人	6,000 人	B
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
4,464 人	5,226 件			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
報道機関への情報提供数		210 件	250 件	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
244 件	336 件			
【関連施策の実施状況】				
<p>本市では、市民の皆様にご覧いただくために、毎月特集記事を制作しており、令和 3 年 11 月号は香川県広報コンクールの広報紙（市部）部門で優秀賞を受賞した。</p> <p>ホームページでは、令和 2 年度のアクセス数が 1 日平均 4,705 件だったのに対し、令和 3 年度は 1 日平均 5,642 件に上昇した。内容としては、観光地情報（天空の鳥居、銭形砂絵など）、新型コロナウイルス感染者情報のアクセス数が高くなっている。また、市長・市議会議員選挙があったことで開票速報を見るため閲覧者数が増加したことも背景にある。</p> <p>ツイッターは、市内観光地情報やイベント情報を定期的に掲載しており、令和 3 年度にフォロワー数が 5 千人を超えた。インスタグラムでは、市民や観光客に本市の魅力を発信してもらうため、参加型のフォトキャンペーン「#かんおんじふおと 2021」を 2 回開催した。</p>				
【今後の取組について】				
<p>報道関係者への情報提供については、より取材していただけるような文章表現を意識してプレスリリース資料を作成する必要がある。他市のプレスリリース資料の研究、関係各課の報道機関への積極的な情報提供を依頼する。市のホームページに関してはリニューアルに向けた情報収集を行う。SNS では、市のインスタグラムのフォロワーは徐々に増加しているが、今後は投稿頻度を増やし、インスタキャンペーン等のイベントも引き続き継続しながら、フォロワー増加および魅力的な画像の収集に努める。</p>				